

# 令和6年度 施策事前評価シート

施策責任者 所属	健康増進課	電話番号	直通	989-5575		
基本目標	いきいきとした暮らしを支える 優しいながいずみ					
政策	健康で幸福を実感できるまちの実現	施策分野	健康づくり			
施策分野 の総事業費	前年度 決算額	588,846	千円	今年度 予算額	571,352	千円

## 施策の進捗状況

	成果指標名称	年度	現状値	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	単位	進捗 評価
1	10分以上連続した健康づくりに週1日以上取り組んでいる市民の割合	目標値		76	77	78	79	80	%	C
		実績値	75.4	68.6	60.2	65.8				
2	生活習慣病による死亡率	目標値		70	69	67	66	65	%	E
		実績値	71.3	69.6	56.3	80.0				
3		目標値								
		実績値								
4		目標値								
		実績値								

総合評価	C：進捗が思わしくない
------	-------------

## 事前分析

施策分野における これまでの 取り組みの概要	地域健康づくり推進（地域元気づくり事業、食育推進事業、まちなか健康交流事業）、健康づくりセンター・健康公園の運営及び管理、健康対策（ピロリ菌検査の実施、禁煙外来治療費の助成）、母子保健事業（母子健康教育事業、母子健康相談事業、母子訪問指導事業の実施）、母子健康診査事業の実施、出産・子育て応援事業の実施、母子予防接種（ヒブ*・小児肺炎球菌予防接種、麻しん・風しん予防接種、五混*・ロタ*・BCG*等予防接種の実施）
施策分野における 背景・環境 及び抱えている課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活の課題が顕著化（塩分過多、野菜不足等の栄養の偏り、食習慣の乱れ等）</li> <li>・ストレスや過労によるこころの病気が顕著化。こころの健康の重要性についての普及啓発や支援体制づくりを進める必要がある。</li> <li>・R4から前期高齢者の総死亡者が減、生活習慣病死亡者は増となった。内訳は消化器系がんと脳血管疾患による死亡者数の増加が影響していたが、単年毎の死亡率の変動が著しく、原因特定は難しいが、県東部地区特有の喫煙や高血圧などに着目して、複数年の経年変化を見つつ対策の検討を進めることが重要。</li> <li>・20～64歳といった早期からの健康づくりが必要だが、多くが忙しさを理由に健康づくり意識が低いことが懸念される。時と場所にとられない健康施策が必要。</li> <li>・地域元気わくわく教室（対象：自治会区）と他課事業で対象が重複している。</li> <li>・コロナによる社会経済活動の変化により身体活動量の減少が懸念される。</li> </ul>
施策分野における 改革・改善内容 及び今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パークゴルフ場の運営並びに健康公園、各体育施設の適切な維持管理を実施するとともに、歩数アプリ参加者のさらなる増加に向けてSNS等を活用した施策を展開するなど、幅広い世代の日常生活における気軽な健康づくり環境を充実する。</li> <li>・妊娠期から出産、子育て期にわたる切れ目のない支援を図るため、家庭の孤立化や子育てに不安を感じる親等への産後ケアや母子健康相談などの事業を推進する。</li> <li>・地域元気わくわく教室（対象：自治会）については、他課事業と対象（高齢者）重複のため、当課のメインターゲットとする働き盛り世代を中心とした事業所等での実施に着手していく。自治会を対象とした事業は希望性とし、フォローアップ事業は継続。</li> <li>・働き盛り世代に対する各種健康づくり事業として、対事業所へ働きかける。</li> <li>・様々な世代や障がいを持つ方など、誰もが自分に合った健康づくりに習慣的に取り組めるよう、自由参加型イベント「ながいずみカラダフェスタ事業」を実施する。</li> </ul>